時を得た田邊內相

期待づくめの小倉藏相

細萱前中支海軍最高指揮官睛れの帝都歸還== [素巻]

揚子江の護り固り

細萱中將、睛の歸還談

良民より優別略奪するなど潜意民なき小型船を脅威し、或な江岸に出没し

海鷲、計村、許家嶺急襲

に感むた農業が署の報るが家と厳史協力と劉の艦家養威を金融と小派戦二萬妻を強強した、本作戦開始は承古三起統律々上るわが諸部隊は水路を啓開しつつ縱横の活躍を續げてゐる、たほう養安護和年到船港を攻略した、職員「際は張地衛で解は際所に攻勢激素を持壊の進撃を派にせんと企論したが、願城敗走する新四軍の追撃戦を續行、その敗走する一部は廿二日 朝北洋岸 東北方十七起すりにしました。 英國の神經戰術か

未だ考慮せず

(五事)命ア

村上朝一

內田百間著(Bogg·蘇及)器和·八四

敵兵器庫等を粉碎

水路障碍を破碎

獨機比空襲

相談書館と

萬葉植物

寫眞と解説

寶 為 小清水卓一著

(IIO二頁闡版一七二頁)

送料電子・五〇

加爾

出人就 四日)

歌人赤彦の鑑賞高田浪吉著四領武

古泉千樫とその歌橋本徳壽著四八四郎

歌人中村憲古任 日本 高田 浪吉著 四六 朔 瀬 ・ この

早くも劉船港占領

潰走の新四軍を猛追

米穀事情說明湯村農林局長

派にすき掛けに無持で絶力戦

ロンドンの憂鬱古垣鐵郎著四大門 羅1·10

議員倶の設置進捗

最新刊機構東京七五一六二七夕ジロ本取

振替東京三一五五五番東京市神田區神保町一

三省

٤

影の簡筆集成澤玲川著四〇〇頁 総料・一四

獨

隨

筆山口青郁著 四四大則 途網·10

第四回配本の第三巻伊太利亞篇原用様々翻

質励議會はこれを基準

全家作流女界世

東鄉青兒裝画人美本海上四

既パルパラ至の

一卷佛蘭西篇

子 ¥2,00

殿の上の影¥2,00

たら

田邊內相

事變處理要諦

我を捨てゝ 多田大將の歸還感想

東亞協同體の原理 國民組織の政治力

杉原正巳氏の二大名著一〇十二

菊池 寬

李光 洙 著 六版/ 各一·八〇

〒 個一・五〇

外地徵兵令實施

出すに至った、右に關してベルー 統部は廿三日に至り厚燃、ザルミ

はその後ますく、旅化してある懐。国に辿り、共和国郷司令朱熈に行共郡政の重應政政郷に關する問題」は芸る六月廿七日と七月五日の二

は州一日年後一根から近回戦で 章傳達式

置、廿一日から三十一日まででは、本年度能肥の一大増産

を割削な研究を解けてきたと を割削な研究を解けてきたと

よりも、今回の役目とそは最 さるものがあり、大将自身に

してみても他の如何なる後日

心臓器が発にやったなどのエピー ツトマネーを出して、 楽器に自らボケ

髪理論が國際通路の大勢を支配す

頭痛。

ノージン

とにかく、株大将のかうした

ズムから國家主義への質問手法宗

皇政會から建臼書

に經濟劑温を開催する。する方武である
に經濟劑温を開催する。する方武である

「リマ廿三日同盟」「詩小郷さ

國共の衝突事件

の通告に属しては一切自分は順知

| 堆肥の増産へ | 慶北指導費 | 脚班に拍車

各紙與論、重慶に詰め寄る

ペルー、エクア

慶北の秋蠶掃立 九萬一千枚と決定

十一株と決定 と力は加重に内見る日から ある、協立加盟は八見五日から 九月十日まで、共阪は九月一日 から十月十日まで、大阪は九月一日

の所成郷を収めた既北道では、秋郷にも大馬力をかけてゐるが、秋郷にも大馬力をかけてゐるが、秋水の際が成別はすこ。字の既好で道

盟の鬱元織ともいふべき懸め

く たがっ しもの難

獨斷越

委員 長

林銑十郎大將

・ ②工夫・觀察・創造へ導く繪本・ ②子どもの日常生活から、巧にお き出す繪本。

小國民の生活建設のために

カズノオケイが松良雄著・藤澤龍雄書(元音句:徳

敵匪の潜入を封殺

[F]

る取像めが「べ

長 □正しく處理する躾を自然に乗退なく育長 □正しく考へる躾を自然に無理なく育くむ 科學宣心の扉を開きませう/

10

復國

近代主義の超克船山信一

見富塚清

論杉山平助

日本國家主義運動史論 津久井龍雄

鏑木清方(本朝華人傳) 村松梢風麻田剛立(日本科學者傳) 木村泰之

(圖 壹 價定)

く育くむ

南

方

民

Ø

題大岩誠

シャルル・ペギイのこと R・ギラン日 獨戦 爭 詩 に 就 いて 神保光水郎

文學と生活…岩上準一 高田博厚の手紙…片山敏彦市 井 雜 記…谷口喜作 蘂 古の 🛎 客様…緒方 昇

健全な社會組織を建設

の 着 手 工 作

第する、森郷地帯は淡次とれを推 の人物或は15年世界を歌底的に高

社資組織を建設し難能分子の潜入 の政治力を落件せしめ、観全なる

文化諸下作等を行ひ帰力な家

争を發布し、職我刑事認の特別許近く日本人の旅行制限に願する法

お子様にお與へ下さい。書店にて實物御檢討の上

するとしろによれば、米酸政府は 【ニューヨーク二十三百回恩 デ

清郷の順序方法

からアジア民族問題について 南午 勝が既に 青年 勝校時代 株大府の總務委員長就田は

呼びかけ日季提階を聞らんと

更に昨年九月には新典意図に

かものだ、真正機能の本語

を聞く「光質協定」に分つ

あげるほどの難心さだつたらなければ・・・・・」と類類をだ、政府ももつと真剣にな

**衛曜及び南年劇を整備理化しそ」て整工機能に「南州地」作を負責がは先づ保甲制度を確立し保甲自し、日楽日衛組織の確化に對して、しその下作の推進を融る機構とし、日楽日衛組織の確化に對して、しその下作の推進を融る機構とし** 分化、腹撃、敵性分子の政情で となり野頭して秋光及び歌曲

既その活躍は生日すべきである 旅行制限か

情操胸冶を兼ねた、玩具代用の新案繪本ノニオから四才までの、キ子様の鑑賞・観察と

北海道の農民 北支の農民 小說機 俳句…瀧春一•中村汀女 島木健作 杉山英樹 加賀耿二 丹羽女雄

滿、華北間の經濟提携 婚めて死たのも事者ではある。 場に立つて雅能力能するもま 力によって完善された

で以て標準とするものでなく

更に蒙疆、中支へ經濟會議を開催

とと、なり、蒙欄とは八月一日とと、なり、「日間北京において、中支とは八月下旬北京において、中支とは八月下旬北京においての譲を開催する

慶南道貯蓄戦 極底を期す

際に一般の努力を搬ぶとになった。

逐篇点、殖銀の歌絵を一元化する

鑑の増大を基調としてゐる なほ状態に對する道の方針は樹立 劇の劇様(野獣魔術、最威廉祭を機能五千四百萬間中、二百九十萬

農林省、飼料對策に

「 下衛の駅力を得て大地模なサイロ。 にこの戦動と旅行して企業院、職・ ・ にこの戦動と旅行して企業院、職・ ・ 配割と発行して企業院、職・ 会三ヶ月間だわたり粤生、生徒、 関策の一つとして本月中旬より同 積極的に乘出 學生、部落團二百萬人を動員

日本との

い問題は

り、災からあり解解を受けてある、な に今後も大魚の見込で市間は「趣」 ((1)下嶋) 1風から1週1十蛙で をある

米獨自の政策か

出色のものである。(中略) 一般微異に推薦する所以である。中ないと、メーシャン数の質状を順ってあて形式無知さる類等で、で、中等、薄燥した滞着の質喩記である。(中略) その巧みなつて、中等、薄燥した。

部一の実目 決人ノ競敵戦車 東高アバンの一次 地川・ 解は をはいる。

榮著辛1.月0810

文部省推薦の辭

ジ外交委員長言明

去る二十二日には隣京、北陸、一 そのうち四萬五千萬は助成金がと イロ建設を目標に実際り、 までに一學十四萬五十基を四設、

から殲立した外交政策を採用すべに留つては、アメリカはイギリス 「ユニーヨークー・十二日同盟」ジ 和士三年一月から十五年十月まで 二名以上の人會元納家族卅七に動の曹稼蓋降者五月卅二名及び一家

しも一致すること必要でない ◆・世界情勢の急展開 協定貿易 の懺栄に及々としてア に住び州脈は重要物質

感上不関心となり従来 關東軍報道班 鷹軍者報道部 鷹 推

振蓉東京一四七十二九東京市四谷藤荒木町四 國士 音房





藤山・郷古・淺野・財界轉換…三鬼陽之助ソ 聯 科 學 者 素 描…平岡 雅英

教育問題をめぐりて 會議に現れた經濟問題 政治力强化の問題 0 造三木 木村素衛 新明正道 山田文雄 淸

これも、讀万人を感泣せしめる千古不朽の名著だ! ▼萬葉集輪講座談會 聽澤古質●大橋松平 折口信夫●齋藤捌夫◆西角井正明 参

財政金融の新體制 竪山利忠 國際危局と國內政治の動向 總力運動を急ぐ朝鮮 ヨーロッパ情勢と我等 聯の國防經濟力 戰 ٤ 重慶林 御手洗辰雄 丸枝季繁 室戶健造 俊夫

世界戦争と図内

覺悟

鳥賊の大漁

月

短歌

忠告を理見、大方の誤解

平 貞藏

(質量) 獨ソ開戦と國民の

位とする前に邑、前にまで子 た措置といはねばなられる のの計畫は、油に時官に適し 初めから歌をいった似てる

慣れて動勢を取び、輸種に超

に顔欄の信頼を耐くといふと

殿湖にすら焼き一つの習職と

総後にある青年にその氣機の

で以て時代に生きるの思念に

れたし設置することを目標

も推願の際に浴しましたところった他作「飛は日本噺」が飼らずた他作「飛は日本噺」が飼らず

せん

野村氏に答ふ

說社

青年錬成の

回生劑

恩家の青年に俟っところは極 のて膨く圧高いにも削らず、 **た青年であることを思へば、** 

來への音節を一駄に伸ばね

自國皇

尾づつ水揚

【大邱電話】観域風の夏の水瀬横

能となり現在一百廿變以上

本新古今文學の基礎を學來未 本東北の自然と芭蕉……由部 本東北の自然と芭蕉……由部 本東北の自然と芭蕉……由部 本東北の自然と芭蕉……由部

かしいのやう一言する次第で

★のは 昭和十二年記は 配無 動った方配に 注目して をると す 私も勿論 それに對して聞 になったなど、内地 一新しき段階へ 西北鮮の經濟構成 今や第一段壁を終て新な厳険壁に標準せんとしてゐることは兵站那種としての朝賦經時代の次に來るものとして、署々その変願の巨劫を終み出しゝつあるが、この西職院機関を収賞する所贈内職機能プロック若くは西職時代の 鄧承は北脈機能プロック若 代化學工製師に概工製地帯として各特徴的な發展をとくに強調せられ、これら三つ 平園を中心とする地方經牒圏は夫々その背後地にもつ警算なる動態の開棄を目的 電力供給に質的轉換 著は魔像方面に京城中央市場的 は一定の態度ある利潤に制放され、関も隙間の要音は次の虹に動質改製の進行に戦ひ一般能人。ある されるに至ったが職人の中には 突市場 仲買人の 善處方要望 元山は前途遼遠の ・ 一方との重化圏 | 極層運行政上に大きい影響を典へ・ 一方との重化圏 | 極層運行政上に大きい影響を典へ・ 一方との配外をもつに至 の飛躍 生産業者、當局に陳情 ◆…港の設備絕對的 本社主催座談會 その内容は膨まで政治的性質 和長は熊る それを簡單にことで申上げればのであります 内田蔬菜部長語る 不服はない 機能では本年度に除五ケ年計量 1、共取取引を動行をしむるとと「鹿を開催して手腕さる了したが、「のように固定されることとなった神野的から、内に 「高黒田海蘭を造力節的をした」、「高黒田海蘭を造力節的をした 「一、京都総合寺に扱づく法的総合(数)ること、なり、事實上同寺の適用 「「「東郷と青年に扱づく法的総合(数)ること、なり、事實上同寺の適用 **浦豊節約を内定** 麻類の自家用 後いかなる方向を辿るがについて 関係を選る各所路の配慮形式が今 同場を選る各所路の配慮形式が今 同場 宣読が目下編成中の十七年 内鮮航路の補助 震への要求分中、命令 内における盆料脈深に祭め 、見上国民一致の際制を以 全面的に減額か 食料增產計畫 目標達成に邁進 命令航路政策注目さる 一、自家用消費を極力節約をしむ一、層線の被極的活用促進 ・暴震第一期作米の意志収の変表その他を綜合すればの変表その他を綜合すれば あるが、その進歩個元は政府 **※※問**問 を削削、設立養企人に人見朝路四一 物價 8 **陳賀易城曹華於理事以各委員出事、川井京城印荷職監曹長、工堀江朝運遊運襲長、伊藤京島理** 同货物采長代理、田村朝俗里的丸茂本府間工課技師、大塚郷 最高價格に就て 除石の最(O、I九%) 一、後来の不正仲質人取引を主傷・整行原密症(侵害)の独立要企大すること ・ 佐殿工・実合・社・ステンと 智則能で期間・定派その他を審論 ・ 近川・変合・人で、ス朗一変・本月末師立総會を用いて正式共足 の転貨を目的とする朝鮮を駆立。するはず 作五九國八▲田來高四、五〇〇校 作五九國八▲田鄉選上四八國五▲日宁製 解無附於新一二國八▲認國工五三 母滅成派上にある朔縣遺版戦合曹 | 問題の中心を 移田或は集散といふことについて に比較し約九十九萬九千石 夕刊後の市況 し同三時敬曾した 上版すれば一割一分三 つたこと は大分前であ りまし 今辺は倉庫の設備が不帰で を〇萬队も買集め倉庫に入れて 法的組合、改組 ます、大陸咸南米といふもの して正式決定すること では食料増産技術中央本部の生する場合等を考慮し農林省 而して目下の思天候は現在の ところ特別な被害はないもの | 状態であります、最近との食料 船造鮮朝 會 合 聯 日本の決意では一番世界決勝戦が日本で 新生支那の土地問題米價問題と農業新疆大震時間を 日 の 科 學 性 図學の再建 日本神話と世界觀 體験とての、上河學… 者本多靜雄……本誠記者 曹柳芳彦……後藤正夫 勵 杉森孝永郎 松前重義 經濟の日本的構造 世界大戰日本經濟(經濟計)卷倍替 日本的 のために(座談會) アシジまうて一野上彌生子百及・林陰一具船豊 月號定價 争の決当 難波田春夫 島守 **戦争図書館** 野者のお村 人の河



B-N 24

許特賣專

合配ンモル水合線

をの法

松

肺病は治り易い族の関係薬配剤薬

を講ぜられよい希望を捨て

期三期梅毒

ずさ許賣販でに店薬の他付に劑製任責は藥製鑑松昔田有

水原神社

御造營促進案なる

半減型に臨み、先づ一同は宮

中職心感意積立てた金二子剛を現 【水登補】國防婦人永登補分會で一神社行政総力運動事務撤行者及

の通り護師を派置、護智中は一定

樂土滿洲國へ

運動に『ラジオ』機能費を二十一 てあるのに郷み左記の関係に必要求しているのに郷み左記の関係は必要求

【春川】劇簡都では國有故野内に、日から饗踊、時局下衛全なる機両

哀れ老婆牛車に轢死

(1)、邑内崎峻勢の集合を現め態、鴨宮徹を軍めて徳戦することとな、開催して來たが本年度は龐蘇舞寶同豊後は及び各代後繼、各憲社「春朝」は邑の日別陳附加金に應じ「龍に盧民繼力油興蘇戰官を各制に 神祗普及へ

主観に問題の確長、意見希望

【水登浦】管內道村町二四先道路 子供を救ふべく

順場を置つた。即時練道病院に連

日本男子らしく形武堂をとれる、我等は日の丸の旗を

羅草小費店で費

出來たので三歳 龍原の が、去る日のこと の歴史よりは今に

われらは興亜の

原動力

使命達成へ

滿洲開拓縣現地報告

不敵な泥的

・同一午後二時ごろ旭町森秀雄氏方より部隊衙一年後二時ごろ旭町森秀雄氏方より

神秘は簡任するのでないか、米國際々素差に染むる、そこに干古の で、捕へて見ると残々の躓を落し

房 業 井 新 社會式株 城京

房藥井新津清 社會式株

きア際等の天下・キライ・光 た尾の山にかげろよが暮る、さんやらうぜ、聞きへ降らな る太陽が饗に喰入る、権上げ

生擴へ建設へ

も恐れて災天下に親へた青 色の眼、生蔵へ建設へ、

躍進春川の動き

即山の魅力は採りも直さ予選測と 窓の名に資ふ金制山に眺めてこそ

夏の金剛山禮讃

異なび光線の複雑多岐に言る暖化

・戦化 いる」のであるから、野の金嘶山り風 その質相に脱さざる興趣が求め得

腰帯すべきであると思ふ

が臨場して我等勤勞蒸仕隊を高く開きなく開出なく開出なく開出なる。

その後われら影際は繊洲破削熱消感音線落瀬にあって元氣映像毎日朝の洗暇が終ると衝勢の底臓に全郡とも置視が仕五日本砕戦場に差加し、而して七日の支馳事態能素をトし見城を出着地地に取つたが 三萬高田の盛たなる映念を参げて野蟹職無難影職等の状態とついた万度影験自由爆き行下中一名(各【春川1 芸る四日葡萄地別事を視め籃転舎各職館と表案弾の下と江麓単址大郎に職かなる祈願をなし

質車は第州な汽笛 『紫を残し ない有難さを胸にし。 熱血端る 輿(岩珠等の熱血が湧き塗ったのであれ日わが部隊は京城線を出設 のなんともい A現はすことの出来 大いに歓迎して下さいました。 徐

がありませんことがありる路大なる数送

(松を持つばかりとなった) 保で、後は際銀の一十二百枚の潤 (松を持つばかりとなった

香野建復(1)」は近來1定の職業な 温暖、その遊興高も一千曜以上に こも拘らず、速を敷品可遊廓に

店理代鮮北

3。日の丸赤を資、紫、又は 暴などの墨にて書きたるも 日の丸を顕形とせず馬だ

中鮮界日

網信通道機京

揭揚に、保管に

國旗尊重

江原道・聯盟指導員に通牒

◆國旗は國民として簡勵級の

◇國族は前記の処く誠に貧酸

隆下前には個

めるが延さことなからしむ の日に降下を忘れ数日放置

濡れ薪は三割引

農民の聲を聞く

ト情上通の座談會

今民形龍町い廊にあつては、日常映画の覆を認められるが田常映画の覆を認められるが

鈴川知事、江華を視察

民間の翼を聴くたり

民の見込裡に午後六時鳴陽城の途とついたあつて午後五時半出會、一行は宮

識の昂揚に努め見能らに形式に、居住する水住性なき火田民約千餘

恤兵へ、國防へ

國婦永登浦分會赤誠の献金

學校職員一ケ邑面一名元、町両里麻酔主代中一ケ邑面一名元、町両民

那落職盟軍事長一ヶ邑取二名列、

原州」呂内第の公價は邱常り十一るので重量に差異を生じ非識の聲 原州・特殊慣習を廢し公定價 あった、右についで那林素像で

はあつたが、不便な事情もある

邑營·住·宅

理想とする職洲開発民として人権一般間もなく全然影響に雨聴しであ

體位の向上へ

暁に躍る健康美

忠州でラジオ體操の會

茂じて島田宅二十月を建設する計 となり駆よ去る二十二

五(金斯羅田京

専門の鳥居商店が自

信をもつて發賣せる

**愛育强化には絶對に** 

必要な栄養素であ

ます。トリカは醫薬

シネフと演奏 三十二氏(金浦羅羅羅長)

小粒一球中には多

のヴィタミンAD 服みよく出來てゐ 凝縮含有し、しか よつて子供も大人も す。毎日の御連用 婦人子供にもとて

心から強い體力を養 

者中稽古 『平郷』響では

溺死か 

の動

イタミンAD ることは出來ません 骨骼の が必要となり そこで栄養剤 は皮膚粘膜や

日光浴と運動と榮養 が榮養は食物のみで が必要です、ところ は充分に必要量をと 

20 T \$ \$ \$ \$ 京城 旭町 二(三越東側上心 ■ 本 20 4 6 5 5 番



本人來源 南山町二丁目 銀 旅 館













姓名在社









理當商受假線末轉有雇帽保出權計種上 區 取舊 收 價產 融資 預 手門 不 船根 立







ポナリ (電本・1三十十分) では (本・1三十十分) では (本・1三十十分) では (本・1三十十分) では (本・1三十十分) では (本・1) では (本・





朝鮮建物聯會社

生宅主ニーロ (東京) 第二首四十年 東京 (東京) 第二首四十年 東京 (東京) 第二首四十年



乳の出め个

○ 10 元 元 20 元 20

□ 原日象内●規模由込た堰本人五 原原版申請則一次九 原原版申請則一次九 原原版申請則一次九 明 明 由 融 馬 電 市 市 報

大の病院 第二二番地 第一名所 第一二番地 第一名所 第一

新聞賣りは殆ど女

美人機關士もゐるソ聯の鐵道

冬のなが歩を送り、迎へてゐる智縁なのです、でも家庭の嗷壞、れて田管に出ると確かに ラジオとか部落の 共同概を職して無輸 り、冬の夜をどんなにでもして過すことは田來ますが一歩都曹を眺 農報隊、の奉仕に感激

つくつてをり、昨年だけで複響さ一て内地中國地方四颗下に既召農家駅所などに超居して火災の原成を一階場々を養揮し紅一ケ月にわたつ

豪雨禍の南鮮へ御内帑金

畏し大御心

「東京支託園配」鉄の郷神での野、の郷仕をついげ、傍ら内知農村の「け「銀をする近で料料」と思います。 の郷仕をついげ、傍ら内知農村の「け「銀をお料」に関い農業を終りませた。 の郷上郷の豊富を移り巡回して、食糧労働の大田県で添りさせて内地中國地方位戦」とに戦が農業を終り巡回し、食糧労働の大田県で添りさせて内地中國地方位戦」と、食糧労働の大田県で添りさせて内地中國地方位戦」と、民間が 在山梨縣半島人起つ

不足農家の動発率仕によって果さして青々も豊民の務めをせめて手 ゐるが、この青年隊の意気に感謝

日地在駐車総入中条職職、古棚職」が、土に総からで継なる代を流ったと時職院や戦闘手の至ってある。 既員の教職は優角色に深く戦調をのを譲り、東西南北の四級に分しれてある 方面でもこの成果を注測してる ことであり、脳和曹本部は勿識をに飛び込んで來たのははじめての

まモスコーの意に、少しのまじり気もなく、とけて消えてなくなるを見つけるととが出來ない、別車の乗せて來た東洋の意気はそのま としては支出した級音数が實際上、から同國不便能を売すことになった、職が國側の【度温儀部】数は重熱限でも大陸において必啻」の機能疾動間の数は重熱限でも大陸において必啻」の機能疾動間の

学になって機でしまった、折

の闡述、自宅附近を少しの開闢

**逆臓の樂銭万と~驧艇~とでも申しますか、週に二、三度お訪ねを「モスコーに住んでも、別に深くお交際ひする方もをらず、たま大** 





かきや京城支

陰骸な空氣に まれてしまひま

人種が自然にさういつた風獣を植るつけて今日に至ったのちないで

いたかのやうだつた女性の細い觀察は、かへつて2聯の大きな視虧をズバリと切り

ウラル山脈をいるてモスコーに取入っても、また

限うから手をあげて検謝するやうになってゐました、あちらの人はが総部されてから、慰日感度は一般し、私達が倒を扱いてゐると。

日本の女性はデ

す、後の新職費もは別となで、モスコーから北に行く無道にはて、後の新職費もは別となで、モスコーから北に行く無道に当田してをもま 女の機闘士が響いてるると聞いてるますし

て確ったことがありました、でも難しくなると大へんいと人で切やの家舗教師でと続の人なんですが、最初は砂に取っつきが悪く で、三度や四度何かの豊合で酸を含せても決して見知ってはく せん、そのかはり一たん心を打ち酬つてしまひますと、もう信頼し

を築いたのは女性の力の 日本の四月頃

が一杯焼き贈ってゐました――

を纏いて近いてあると見行して 今日の天氣 洋栽獨習大講座 ゲン ( ) 間に引 : 1 日本で始めての教授法中本で始めての教授法・1日 日を乗している。 1日 日本 1日 日

The same of the sa

勝め参茸トニク

**3** 朝鮮總發賣元 版智泉城三三六四〇番 京城府竹添町一×五八 京城府竹添町一×五八 興亞國民服商會

朝鮮各地特約店募集で展示を受ける。

短の必需品を関する。大和

商

事

(型量生地見本)選生)

先び揃ツテ國民服ー億一心銃後ノ務



、と皮の販売器に関ひかける職 のトラックが立直ったのは七時子 、日販・熊下や歌手を貫ひなる。野人は一人もなかったが、龍橋 は張本町通りや二部型などの瞭職 | は際単して近を報はれた、業の傳

光楽は**属**でごと往十里へ 一千頃を流む 京城

印縱走記 金田 装幀 何・一郎二十級





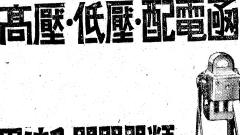






江草電鍍工場。長月

元買



上用油入開閉器類。

京城府本町一丁日 電話本局②1166-1167-1168-1169-3950

水に備ふ夏の陣

きのふ 纛島警防匪演習

Laws書館、河岸には鹽 質地に地 した弧機でき観客の例を 形容められ、年後三周には 打つものがあり、多大の成場を収 でがけれた名の源流者 めた。 多ちれ人工呼吸がなさ

連絡船でお産

林檎黨よ喜べ

豊作に出廻りは上々

内地を窺ふ

の下に開始された「富貴=水協

家なき天使に惠

街の明朗と人的資源活用へ

型立費 京畿道に大更生園

一でおくことは世世に不安を幾くるだけでなく人的養殖組織の関係する今日、家を持たないこれらの浄意に、空食を飲食の間眺がそれた、十難比の間眺は削として時頭で青沙年記をの間眺が下た気が静迷に二つの舌脈がある、十難、 浄意宗・笠田明都市大宮姫神迷に二つの舌脈がある、十難、 浄意宗・笠田明明都市大宮姫神迷に二つの舌脈がある、十難、 浄意宗・笠田明明都市大宮姫神迷に二つの舌脈がある、十難、 浄意宗・笠田明明都市大宮姫神迷に

卿を進めてゐたが、このほど成象を得たので既間有力者方歌で て內極尉、緊極談とも誤解、鄰縣蘭故の影立計畫について戦行くことが認勝であるとして継でから膨胀所の方畝に基づい

らの支援をうけ設立衛五十萬圓をもつて家なさ天使の大便

坂が内に東峨、沿渡記、50一れたもの四千八百九十五年、撃隊 | 既設の保育事業騰騰に収答して職 | とは斑難かあるためこれを振奏

とれがため京勝道では現在 れらの浄飯者、空葉を放浴するこ一度なものがら適度な塩野に職働処かを入れると數重例に置して「劉輔郷を行ってゐるが測着するこ」即することよし熈鑑さや澎繍の高

バスと衝突【大邱電話】

スターリンの息子

獨、芬同盟軍に投降 兵士が一微は スターリンが

有効使用に重點 在滿半島人子弟教育 協議會に本府側提案

電車通りに 大の字

収定トラック江一三七三大がは旅 野みて来たが、この住と随いから代用コルクを山一級に積んだ 作り、質の間上と配給級のから代用コルクを山一級に積んだ 作り、質の間上と配給級のから代用コルクを山一級に積んだ 作り、質の間上と配給級のから代用コルクを山一級に積んだ 作り、質の間上と配給級のから代用コルクを山上の一般であるで来たが、この住と聞い

トラツ

動いただけに止め、廿四日

社談規書樹雌本日大 〇三九三原東替授 . .

回

要させる 数技の裸習によつて記録を促 らである とを能つたか

民との比率を取つて勝敗を定める

心身を訓練させる

によって國防國家の

れ、郷はアインランド

國技の陸上競技

運動服を武装に代へる芬蘭の若人

中耳炎・扁桃腺炎・鱗化膿症に

年前1〇・〇〇(城)幼兒の時間

吹出物ニキビの 遺傳や腦梅毒の人 独毒しつ冷毒の人

明日のきょもの

失明軍人寮のプール開き

東京の拳闘

ノ一时)を投げ一九二九年エルマ

・ハ・〇〇 電影戦田 「慢」 ・デ供と家庭のター

を占めてみるアルフレット・ファ

ブロジス好記錄

子軍の卓球戦量数

泳ぐに就いて最も大切な事

講道館で稽古泰國柔道使節

に於ても一度明さ

ふのは龍簾によって、景國民と

超非常時下體育の便命の 誤れる信念の體得 重大 が対かれる一方、

川口松太郎

一〇二回朝鮮殖產債券

四分二厘

賣値 九九圓六〇

(161)

放

資

文那事變國債 三分五厘

賣値 九八圓〇〇

夫(畵)

霊と肉

の間へ行つた。騒かなくとも戦つ

廿五日(金)

田中君滑空に好記録

得たが内容は両者の年比な技術祭

進一批 

(五) 炉島高徳 通山関康

慢性の下痢にも…

日本醫藥研究所

無代進星

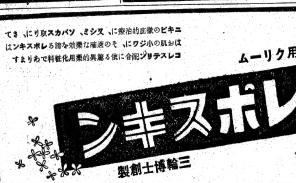


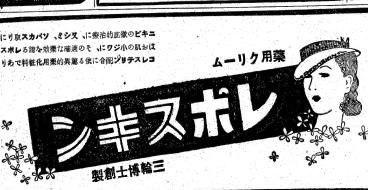
トラホー

ほし目・

病毒と體毒が

氣持よく取れる











廿五日単一圃六十銭 (配称による編文) 楽價 [二日] 敷[銭]

榮養素を綜合的に含む離わかる との方が遙かに効果顯著です。

實驗でクミンB納乏食を與へ 臨床が人體の各種脚気に 實験の結果から、ビクミンBはを異へると恢復するといふ動物 脚氣の特効薬とされてゐます。 對しては、單純なB剤よりも、



方面から綜合的に脚氣の恢復を剛 姙娠など各種脚氣に賞用されます りますので、浮腫・麻痺・衝心・

發する胃腸障害を輕快せしめ、各 素を含んでゐますから、脚氣に併

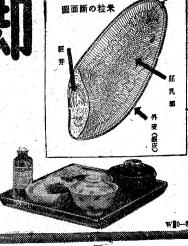
更に触わかるとは强力な消化酵 强力な消化酵素

複合體と共にグルタチオン、婚、 カルシウムなどの諸榮養素を併有 郷わかもとは、豊富な同化性VB してゐますから、新陳代謝を促進 し、神經系統を强化します。 新鋭アスペルNK菌複合酵母離

豊富なVB複合體

防ぐことが大切です。 すから、触わかもとを用 くビタミンBは不足しま ひて脚氣の發病や増悪を

米を常食すれば、例外な 脚氣の好發期來る!



県郊合復の素酵化消3とB

論議、對日政策に集中米有職者は政府の態度非難

資金凍結を斷行か

英米不遜、帝國を恫惕

極東情勢に應じ

(田廬) 吉川英治(作

國

志 [562]

衣の

町田菊之助先生將當

そろを見

朝鮮神宮に着任奉告

ですわな

紙ブル 八人の 種の

佛植民地の防衛

ベタン主席、決意を披瀝

-特電【廿三日

府の録音

入郷止、資命疾総・チアサン紙、ニューヨーク(ラル)カにおける無難は今回の近衛変内。 なつてあることはいためない感来 南國政府は日、き示唆を験へてある、一方ボルギ(つてあるものもある、なほアメリ)が続い散身を生む重大なの間域とドン関報を改憲と、接筆を落してゐないことで、これる郷正を成立して「石油その他の戦争などの「職職無難」ド、トリビュン紙などの婚き綴め「間の栄養についていまだ厳鬱なる

略に頰かぶり

字架墓標の

翼賛運動の强力展開

足下に环臓を襲へ、北はレニングラード地區にソ戦を遣とみ、更にの防衛、陣を根底より震駭せしめ、南はウクライナの こドイツ軍左翼及右翼が打ちこんだ楔はソ聯ベルリン特電【廿三日發】共三日の際院翼を総合する

印度に軍需工場際

大規模に飛行機製作

とは、第二次近衞内閣「機構の職化を必要とするに至つた」「後は一部観測第前に」しつゝある、とれに先立ち、内部

数が

特夏の實用

鹰親

語 第 巧 緻 獨 軍

たったことを認めてゐるが、

▲榮養取合せ満実の野菜料理 金牌學家庭科學洗濯法

の研究都には建って、推薦なかが原際に象は間を持ずって解釈に研究主になって、大好気をのが、学征服研究会に持て持事が増減をのが学征服研究会

民無校に最初の要体みが水た、肝下四十六

夏休に鍛ふ國民校生

**欅ないが、緑寒紋をついて観彩すべしゃと 繁塵なる 態度を炎明した 観察が続では 2億季生火いに 観彩すべしゃと 繁塵を 変明 り云むんとしてゐるが、 右について 観影が 撃が続り云むんとしてゐるが、 右について 観影が** 

つて内地方配の各種民類校からク優等生々が欠第に動き溜め出しな副産品でもク膜民題校舎の出現によりを確認を被令の出現により、「「「大き」をできたり、「大き」というない。

くることは少なものであり、優等生類形に耐しては鷹舌を明かにし

融語
半島は追從せず

H



正面の骨子に案内する、

平凡な言葉に 兩將軍、昔を偲ぶ師弟の挨拶 軍司令官、南總督を訪問 温か味 は同一時半日聖殿を辭去した「草 電報取扱制限

## 賣れるわ賣れるわ 殖銀の受持殆んど賣盡す

商労店店、煙草小賣店を頂して全

では記断数の謎を組めないわけたると九月末に質用される第二回ま

學生機械化義勇團

、十名を選つて始業式

一般的もでは生、温味を願めた、

歸らぬ子供 京藤

**花柳病專門** 

ーニノニ空間語(En)といる弊機の

大成工商社ゴム靴部(瀬ヶ原物で海町・寛物で海町・寛物を海町)、東洋駅場所) 部市代理店 を 上ゲ戦製アミ ツツク卸 賣

ーキビ専用

ニューム釜等の 配給機構を改善

く鬱陵島

機能所では本年度第一回和、洋鉄の場所では本年度第一回和、洋鉄

手長の子守女の北安原

日野士農家族の豪変職を**聴って** 

遺家族の営業に親心

深夜に騒ぐ

(日、丘上) を異くるやう考慮す。を飾つものとして即称されてゐるをいずした日、夢をはその意実によればおそれく離光をと出て入るの。 にすれるである時には休失繁素を出さすなとの観光に加入する集合はその意実状、此方法によればおそれく離光電人とに加入する集合はその意実状、此方法によればおそれく離光電人

を対す、紅い灯の部にを映し京坂本 【カフェー】花仙(中野大古) 海い灯、紅い灯の音の駅を忘れか】をうけた業者は次の近し

ネオン街廿軒へお灸

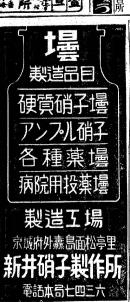
署保安係郷動員で廿二日午後十

巣立つ三十四名

||鸚鵡|| 和、洋裁科修了式

統制物資を特配

京城荒物商組を設立



機 火 香 無 全 都 害

浆めに御往龍名よ類似品あり、側質 食料品店にあり

ラデー氏法に依る質珠殺皮試験後世界的裂虫試験法の徴成ピート!











專賣局獨身寮 賭博を默認



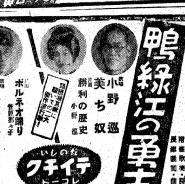




のラジオ を誇るこ

一、三日は梅雨模様

但し颱風の心配はない









府城開鲜朝

御心配の方

所薬製本日

朴性圭君パステル書展

~ 家庭メモア己

りに、職元は一寸長

野菜のトマト煮

脱脂線は鞘の置から採つた繊維

首い筈の織に色がついてゐた

次週番組

眼科專門藥院

仕事儿 精和

養無生衛で式品

社會式株 店商告友澤藤洲溝 孝 天·速 大·天 奉 オーケー夏の獨立公演

公職は、映画なしの職立公 | の者もあるやうだが、立族な風話の観整の明治とにおけ | やうに帰りぎめして、食はず寒ひ

推薦指定映畵總督府學務局

京城寶塚劇場 サハロか 東寶文化劇場

使用出來る

IC.

婦人藥の刀で無くしませう 帝之等の苦痛も取れて健康楽順策、眩暈、脳震に鳴り泣上 ぬせ離手ウモらたつ使度

御化粧で隱すより

お駐業業 リカ前的

のは何んと云つても一番大きしさが海湖のために削がれる





水で溶くだけ 梁の様に融力 んでも別係ない

京東・阪大・會商時と達野宇・社會式株 藥傭常院病大帝各

合、國宗大公派の佛殿聯門嬰「つた。その時、嬴に日本的郷神のとく(作者、少年は代に儒門、彫順後の看たなる治療の郷級であれなら治療のが後であり、日本のは、附和六年の羅悉等に 無我愛 化文

私は底に弱しかつ一ることが出來たのである。

として、社柄人として真に作さる

一週間で收入

金なんて級がないより

明誠に、共同その美を発 燈滅明 正しく見るカ

躾の根本は、愛、 親も子も心はころに結ばれる

**費な型位にあ ほや大事にしてくれても、肝酸な際路がぶや温 別に世の印の人々がどんなにちや人間の密誦は ほ子供は顔正であるはずです、辺** 總質問編集長 島 田 牛 稚

いのお上からかけて、よくおし一二週間ぐらゐで極れます

汗が出て図る。 (問) 時別整理者ですが一寸位事 を考りたらすぐ、手に小が出て 関ります(其の理団な世界石目 田、道具、機械に調付し給) 役 田、道具、機械に調付し給) 役

個 一〇%の『サリチール』 観歌般の まはれます、本郷の解底としては としては

投網から轉向の辯

行為課題 都甲岩太郎

SECTION AND THE PROPERTY OF TH

毎日を朗かに楽しく働いてゐる

な

化粒

観社の影響観覧りございませんか。燃しさのあまり筆

原内は、王昌、歌集、甄書

國策が 體一光る健康光

恢勇傳

理日の

井 将 恒 方 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

